

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	セキスイハイム工業株式会社	事業所名	東京事業所				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	輸送部門を管轄している部署が輸送会議(1回/月)で把握			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	環境管理委員会を開催し、輸送業者に対し伝達教育を実施。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	輸送事業社に対し環境関連法規(自動車NOx・PM法等)に適応した車両の使用状況について定期的な報告を受けている。			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ----- ()	部材納入メーカー毎の配送から、ある拠点を設け集約し共同配送することで車両数、回数を減らしコスト削減を図っている。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	弊社のユニット工法の空間を活かし現地で使用する屋根はユニット上に、外構部材等はユニット内に積み込んで出荷することで部材車両を削減している。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	上記3で記載した内容と同様にHUB配送(共同)を行うことで他メーカー共同で配送。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	トラックの荷台のスペース等を活用し太陽光パネル等を積載することで効率化を図る。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	部材使用日の前日の〇時(時間指定)までにと発注書にて指示しています。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	混雑時等があったら輸送トラック毎装着したETCの情報を配車係に一報を入れその情報を基に各運転手に対し指示を出し同じ目的地に行く車両は全て効率的な走行ができる。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	輸送定例会議にてエコドライブ等の改善に向けた取り組みの要請を情報共有。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	工場内のユニット移行車両に対しての車両を利用しての休憩を防止する為、運転手控室等を設置。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	部材によっては納入時一部区間にて(鋼材等)船舶を使用して工場に納入してもらう。	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	セキスイハイム工業株式会社	事業所名	東京事業所			
	取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5

自動車地球温暖化対策実施方針

02 公共交通機関への転換の推進 ----- (01) 公共交通機関利用促進のための情報提供	従業員がよく見る掲示板に最寄りバス停からの「時刻表」を掲示	○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 ----- (02) 送迎バス等の運行	最低でも出勤時3便, 帰社時4便の計7便を運行。生産ラインの残業に応じて増便する。	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (01) 自転車の安全利用の促進	期1回の交通安全教育実施	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	駐輪場設置 (約80台分)	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (03) 駐輪場以外の自転車通勤者向け設備の設置・維持管理	従業員全員の更衣室を設置	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- (02) 従業員用駐車場の有料化又は駐車場台数の削減	駐車スペースを削減してお客様用駐車場を移設。(既存のお客様駐車スペースを緑地化)	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- (04) テレワーク制度の導入	生産部門以外のスタッフ部門で実施。ZOOM会議等で外出、出社の交通手段の削減。テレワーク時の手当金の制度設定。	○	○	○